

●第7回「新たな学校づくり・社会教育施設づくり検討委員会」が開催されました！

第7回検討委員会では、①中学校整備の方向性 ②今後の社会教育施設の方向性 ③基本構想（素案）、整備計画（素案） ④個別施設計画（概略）に関する検討と意見交換をしました。

【第7回検討委員会に関連する論点】

- 1) これからの時代の学校に必要な機能・諸室 多目的スペース、少人数授業、特別教室 など
- 2) 新しい学習形態に対応した学習環境 教室空間、オープンスペース など
- 8) 学校と地域をつなぐ、現実的かつ効果的な複合化・共用化 特別教室の共用など

※各回の検討は「10の論点」を基本として進めております。第1回資料をご参照ください。

●中学校整備の方向性

前回に引き続き、中学校整備の方向性として、これからの時代に求められる学習空間の構成や少人数学級、特別教室の設置のあり方などを検討テーマとしました。

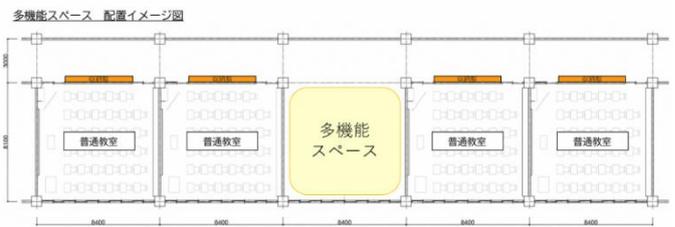
その新たな機能としては、普通教室間に多機能に活用できるスペースを設置することで、少人数指導における教室という使い方のほか、多様な学習空間の1つとして捉え、また廊下においても拡張性を持たせることで、自習スペースといった学びのほかに収納空間や生徒間交流の場など、校内全体を学びや生活空間として有効に活用できないか検討しました。

また、特別教室における一部共用化や近接してワークスペースをあらたに設置するなど、学校全体で学習空間を確保しつつ、体験型学習の作業や講義型の授業にフレキシブルに活用できる空間の設置必要性についても意見が出されました。

●今後の社会教育施設の方向性

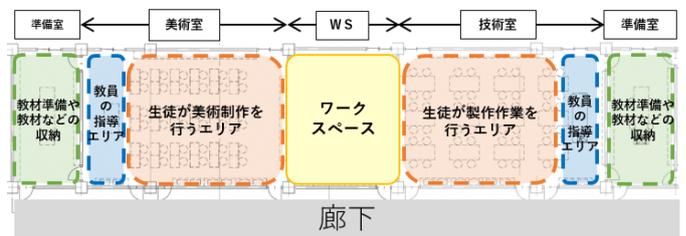
これからの社会教育施設は、学校施設との複合化により、単に建物の老朽化対策の解消を図ることを目的として整備するものではありません。地域に学びの拠点が配置されることで、いつでも、どこでも、だれでも学べる仕組みが構築され、子どもと大人はともに学び合い・育ちあうことが期待されます。

本市では、学校施設の地域開放の枠組みを超え、校内に地域の学びの場としての機能を設置することで、誰もが学び続けられる環境を考えていきます。



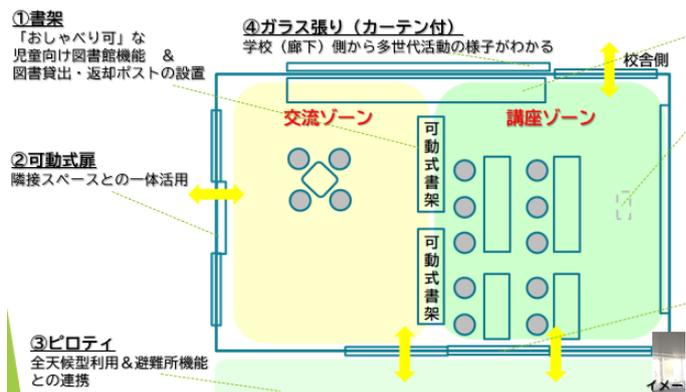
多機能スペースの配置イメージ

【出典】第7回検討委員会資料_1-5より



特別教室のフレキシブルな配置検討

【出典】同資料_1-7より



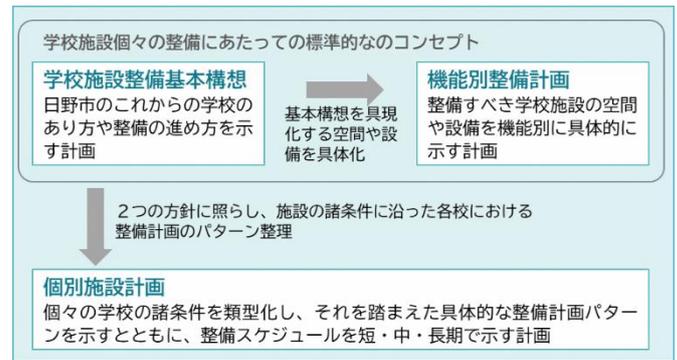
専用スペースの空間イメージ

【出典】同資料_2-12より

●基本構想(素案)、整備計画(素案)

これからの学校施設整備のビジョンを示す「学校施設整備基本構想」と具体的な整備の方向性を示す「機能別施設整備計画」それぞれについて、事務局より第1回目の素案を提示、委員皆さまにご意見をいただきました。

検討委員会では、これまで検討委員会で意見された学校施設の現状と課題や用語の使い方、そして子どもたちの安全面の視点を取り入れた空間配置や学校の適正規模の考え方などに関するご意見などをいただきました。



新たな学校づくり・社会教育施設づくり推進計画と
個別施設計画の構成イメージ

【出典】同資料_3-11より

●個別施設計画(概略)

平成28年度に策定した「個別施設計画」における改訂の方向性について、事務局よりその概略を提示しました。本計画では、現行計画との比較による学校施設の整備手法や建物の耐用年数基準、事業コストの平準化などにおける基本的な考え方を説明、次回第8回検討委員会では、概算事業費の試算値や各学校の整備スケジュール、建物調査結果の現状など計画全体を計画書形式でお示しすることを予定しています。

●第7回検討委員会における意見交換の様子

意見交換における主な意見

様々な教育施策により教室数も必要になってくる。できる限りフレキシブルな空間であるとよい。

多機能スペースの可能性として、不登校支援に関する教室のあり方も考えなければならない。

中学校では職員室に入れる機会は少ないため、子供たちがさっと先生に質問をしたり話し合いができる場所が欲しい。

多機能スペースの設置は、多様な学び方を子供たち自身に委ねられ、創造できるので、とてもよい。

夕方からは地域の人たちが学習をフォローしてくようなスペースが各学校にできるとよい。

稼働率の低い特別教室は、3つの教室を2つにまとめ、もう1つの教室は多機能スペースにするなど、考えられるのではないかな。

社会教育が市内で面的に広がりを見せ、地域の学びの拠点が中学校区にできることは非常に意義が大きい。

日野一小を中心に複合化されると皆が学ぶ楽しさを知り学び合う。日野の街はもっと活性化する。

公共施設の中で特に学校施設の維持管理は改善が必要。既存校舎のバリアフリー化も大きな課題だ。

市民の皆様より意見募集しています。左記二次元コードからアンケート回答フォーム(ロゴフォーム)にてお寄せください。

※これまでに寄せられた意見もご覧いただけます。



二次元コード



●発行者：日野市教育委員会庶務課 新たな学校づくり担当 ●住所：〒191-8686 日野市神明1-12-1
●連絡先：電話：042-514-8698 ファックス：042-583-9684 Eメール：ksyomu@city.hino.lg.jp